

常任委員会での協議内容（平成28年8月分）

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容等
1	美川地域の小学校周辺の通学路には防犯カメラは設置されているのか。	防犯カメラは設置されていないと思う。犯罪を未然に防ぐ環境づくりが大切なので、要望していきたい。	白山市安心・安全まちづくり推進事業として、通学路6カ所に設置を予定している。今後、小学校やPTA等の関係者からの要望を参考に、不審者情報を踏まえ検討していきたい。
2	市では、出所者の就労支援をしていたと思うが、現在の状況は。	取り扱いには慎重を要する内容であり、公表されていないと思われるので、執行部に確認したい。	保護司会が推薦する未成年者を最長で1年間臨時職員として任用する協定を締結している。しかし、これまでに推薦がないので就労支援には至っていない。
3	消防団員が減少している中、どのようにして女性消防士をふやしていくのか。	町会長等を通じての依頼や防災に関する協議会でも募集しており、徐々にふえている。	平成28年9月現在の本市の防災士数は合計269名、そのうち女性は31名となっている。本年度は重点的に市女性協議会への働きかけや広報などによって女性防災士の募集を行い、すでに20名を超える受講希望があり、潜在的な関心は高いと感じている。
4	昨今、学校や福祉施設に不審者が侵入する事件が発生しているので、万全な対応をお願いしたい。	不審者対策については、マニュアル化されていると思うが、議会でもより安全になるよう対応していきたい。	市内全施設において、防犯対策を含む防災マニュアルの作成を徹底している。不審者侵入時の防犯訓練については、警察とも連携し指導を仰いでいる。今後は定期的にマニュアルの見直しを行い、園児や保護者が安心できる保育環境づくりに努めたい。
5	病児保育に預けることができず、仕事を休まなければならないことが多いので、病児保育の充実をお願いしたい。	実態を調べて適切に対応したい。	感染症等の病気の種類によって定員まで預かることができない場合がある。平成27年度は、市病児保育センターとくらやま保育園で651名を受け入れている。病児保育は今後も2カ所で実施していきたい。
6	小児の心肺蘇生や骨折などの救急処置に関する講習会を開催してほしい。	白山野々市広域圏内における心肺蘇生で助かっている割合が全国1位であることを周知するとともに、講習会がふえるように努力していきたい。	平成27年度では、保護者対象で2園が講習会を開催している。今後とも保育園・幼稚園・保護者会向けの講習会を開催し、受講していただけるよう、周知に努めていきたい。